

掲示板監視・投稿監視・ユーザーサポートの
イー・ガーディアン株式会社

株主・投資家の皆様へ

E-G 通信

第14期 第2四半期
2010年10月1日～2011年3月31日



We guard all

E|G E-Guardian
— We guard all —

証券コード: 6050

イー・ガーディアンはインターネット参加者の安心・安全を創造し、投稿監視のデファクトスタンダードを目指します。



代表取締役社長

高谷 康久

Q1 イー・ガーディアンの事業をご説明ください。

A1 一言で説明すると、インターネット界の警備会社です。

イー・ガーディアンの理念は「We guard all」。インターネットに関わるすべてを守り、インターネット参加者の安心・安全を創造することです。分かりやすく表現すると、私たちはインターネット界の警備会社です。この現実の社会でも警察があるだけでなく民間の警備会社があり、今や社会インフラとしての重要な役割を果たしています。私たちも民間の警備会社のように、インターネットの安心・安全が守られるような社会インフラとして機能していきたいと考えています。

Q2 2010年12月に東証マザーズに上場されましたが、目指すところは。

A2 まずは日本での投稿監視のデファクトスタンダードの確立。それをステップにグローバルを目指します。

投稿監視をはじめとするサービスは、まだ新しい事業領域です。そして、WEBビジネスの普及により、マーケットの成長性も明らかです。そのマーケットでイー・ガーディアンが着実な成長を実現していくためには、この分野でのデファクトスタンダード*となることが不可欠です。まず、日本でデファクトスタンダードを確立し、それをステップに次にはグローバルなデファクトスタンダードに挑戦していきます。後者に関しては、海外向けのサイトを展開している顧客へのサービス提供や、さらには上場で確保した資金をより精度が高く多言語に展開できる新しい投稿監視システム開発に投入する、という形で布石を打っています。

Q3 競合他社に対するイー・ガーディアンの「強み」はどこにありますか。

A3 第一に業績に基づくノウハウ、第二にサービスの精度の高さです。

当社の強みは、第一に業績に基づくノウハウです。当社は学生向けや主婦向けなどさまざまなサイトを300以上運用し、そこから得たノウハウを活かしてサイトを安全かつ健全に活性化させる提案ができます。第二に、サービスの精度、すなわちクオリティとそのクオリティを担保している人材です。当社はこれまで麻布十番や六本木などに監視センターを置き、都心での人材採用を行ってきました。投稿監視のオペレーターとしては社会性や常識、文化への鋭敏な感覚などを兼ね備えた優

秀な人材が必要なため、当社の採用は100人に数人程度の狭き門となっておりますが、都心に立地していることにより、こうした人材の確保が容易となっております。

さらに採用した人材への研修も徹底的に行い、例えば一つの会社を担当するためのテストでは、100点満点を取得しなければならないというハードルを設けています。80点では、残りの20点分のミスが生じる懸念があるからです。このように人材確保と育成こそ、当社の競争力の源泉だと考えています。

Q4 麻布十番や六本木などの都心に監視センターを置いている理由は何ですか。

A4 顧客企業との「顔の見える関係」が迅速対応を可能にし、新規事業のニーズの掘り起こしにもつながります。

都心に監視センターを置く理由は、先に述べた人材確保と育成に加えて、顧客との緊密なコミュニケーションが可能となり、新規事業創造にもつながるということです。今年3月に起きた東日本大震災でもそうですが、迅速な対応が必要になる場合には、担当者同士が顔を合わせて頻繁に打ち合わせを行う必要性が生じます。その点で、ネット関連企業が多い都心部への立地は大きなメリットがあります。また、顧客企業と緊密な関係を築く中で、これまでになかった分野での仕事を依頼されることもあります。それがネット広告の審査やツイッター、フェイスブックをはじめとするソーシャルメディアの活用など、新規事業の創造につながっていくわけです。

同時に当社は、2011年6月に宮崎に監視センターを開設しました。リスク分散を行うと同時に、都心でやるべきことと地方でもできることの効率的な配分によって、さらに競争力を高めていきたいと考えています。

Q5 社長ご自身の経営哲学をお聞かせください。

A5 「原理原則」を大切にすることです。

私の信念は、「原理原則」にのっとった経営を貫くということです。これは企業として、「原理原則」を大切にすることであり、同時に人として「原理原則」を大切にすることでもあります。当社は投稿監視という事業からマニュアル企業だと思われがちですが、社員一人ひとりが「自分の頭で考える人」になることが重要です。そのためにも、社員の誰もが「原理原則」を自分の中に育てていくことが大切だと考えています。

Q6 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A6 ブランド価値・企業価値を高めることにより、株主の皆様への還元を追求してまいります。

先ほども申し上げましたが、まずは国内におけるデファクトスタンダードの確立、そして将来における海外進出、世界でのデファクトスタンダードを目指します。そして「投稿監視といえばイー・ガーディアン」と言われるような、誰もが認める価値あるブランドへの成長を実現し、企業価値を高めることで株主の皆様への還元を果たしてまいりたいと考えています。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。



* デファクトスタンダード/デファクト (de facto) はラテン語で「事実上の」を意味し、「事実上の標準」という意味の単語。ISOやJISなどの標準化機関等が定めた規格ではなく、市場における競争や広く採用された「結果として事実上標準化した基準」を指す。



1. 流動資産

新規上場に伴う新株発行による現金及び預金の増加、売掛金の増加などにより、前事業年度末と比較して406,085千円増加し、1,051,446千円となりました。

2. 固定資産

監視フィルタリングシステムの稼働に伴うソフトウェアの増加、六本木センター開設に伴う有形固定資産の増加、六本木センター増床に伴う差入保証金の増加により、前事業年度末と比較して45,101千円増加し、136,707千円となりました。

四半期貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期 2011年3月31日現在	前事業年度 2010年9月30日現在
資産の部		
1▶ 流動資産	1,051,446	645,360
2▶ 固定資産	136,707	91,606
有形固定資産	34,017	30,194
無形固定資産	52,012	17,569
投資その他の資産	50,677	43,842
資産合計	1,188,153	736,966
負債の部		
流動負債	276,619	268,541
固定負債	625	832
負債合計	277,245	269,373
純資産の部		
株主資本	910,908	467,592
資本金	337,005	152,210
資本剰余金	294,255	109,460
利益剰余金	279,646	205,922
純資産合計	910,908	467,592
負債純資産合計	1,188,153	736,966

(注) 1. 2010年9月期第2四半期累計期間においては、四半期財務諸表を作成していないため、2010年9月期(通期)の数値を掲載しました。
2. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

四半期損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期 自2010年10月1日 至2011年3月31日	前事業年度 自2009年10月1日 至2010年9月30日
売上高	918,528	1,340,629
売上総利益	341,963	503,692
販売費及び一般管理費	193,445	299,655
営業利益	148,518	204,037
営業外収益	561	10,997
営業外費用	16,623	2,274
経常利益	132,456	212,760
特別損失	2,448	3,636
税引前四半期(当期)純利益	130,007	209,124
法人税等	56,283	90,086
四半期(当期)純利益	73,723	119,037

四半期キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期 自2010年10月1日 至2011年3月31日	前事業年度 自2009年10月1日 至2010年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,644	202,351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 48,474	△ 26,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	369,591	64,920
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	368,761	240,982
現金及び現金同等物の期首残高	443,197	202,214
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	811,958	443,197

3. 売上高

投稿監視業務での大型案件の新規受注と継続化、既存顧客との取引拡大、新規顧客へのアプローチの強化に努めた結果、売上高は918,528千円となりました。

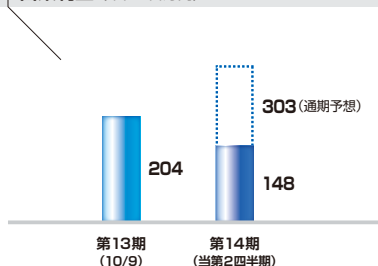
4. キャッシュ・フロー

新規上場、第三者割当増資及びストック・オプションの行使による新株発行により、財務活動によるキャッシュ・フローは369,591千円の収入となりました。

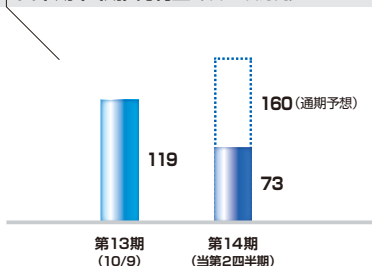
売上高(単位:百万円)



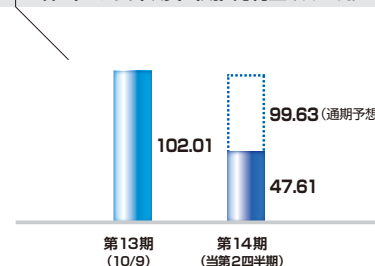
営業利益(単位:百万円)



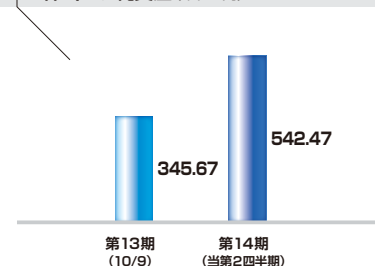
四半期(当期)純利益(単位:百万円)



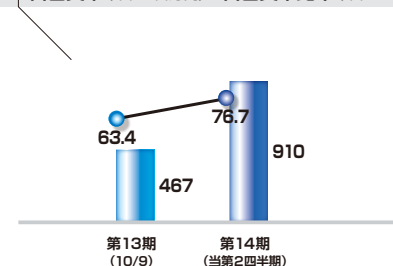
1株当たり四半期(当期)純利益(単位:円)



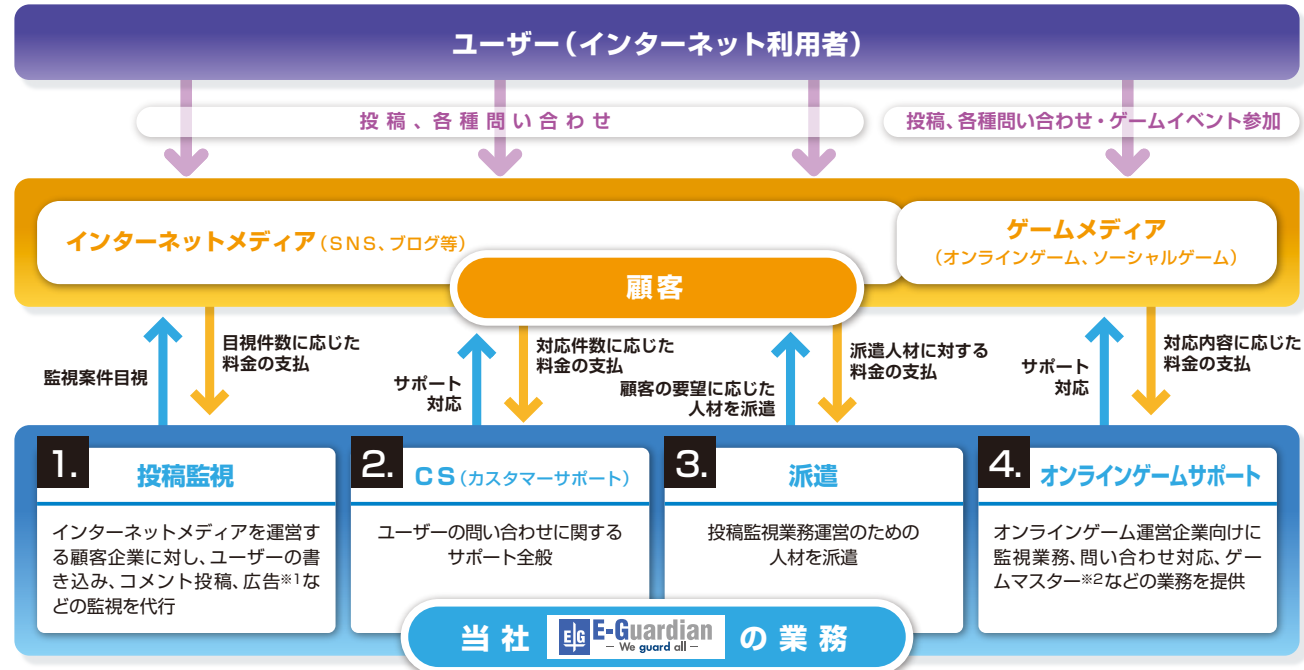
1株当たり純資産(単位:円)



自己資本(単位:百万円)/自己資本比率(単位:%)



当社では、掲示板投稿監視事業を4つの業務に区分しています。



*1 インターネット上の広告に対して、実事法や景品表示法などの関連法に違反していないか、またリンク先が適正かなどを審査すること
*2 オンラインゲーム上においてユーザーのパトロールや誘導を行うサポートスタッフ

COLUMN

常にあなたの身近に、イー・ガーディアン

インターネットを取り巻く環境は、日々変化していますが、その一方で、インターネットを利用した犯罪や誹謗中傷が後を絶ちません。このような中、大人は、子どもが安全・安心にインターネットを使うよう、家庭内でのルール作りをする必要があります。

例えば、利用時間や場所の選定、有害サイトへのアクセスを防ぐフィルタリングサービスの活用、個

人情報や誹謗中傷の書き込み禁止などに関して、家庭内でルールを決めることです。

当社は「We guard all」を理念とする、有害情報監視を担う業界最大手企業です。24時間365日、インターネットの掲示板や投稿監視により、インターネットの有害情報の蔓延を抑制し、皆様のお子さんやお孫さんがトラブルや被害に遭わないよう全力でサポートしています。



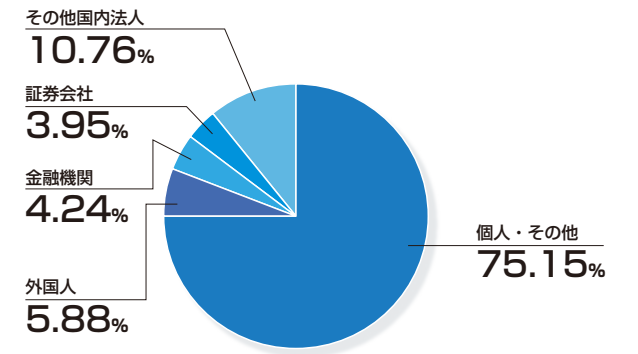
(2011年3月31日現在)

会社概要	
商号	イー・ガーディアン株式会社 E-Guardian Inc.
代表者名	代表取締役社長 高谷 康久
設立	1998(平成10)年5月
資本金	33,700万円
従業員数	411名(うち契約社員数340名)
本社	〒106-0045 東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル 4F TEL: 03-5575-2561 FAX: 03-5575-0621
センター所在地	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京センター 〒106-0045 東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル 6F TEL: 03-5575-2562 FAX: 03-6675-3030 ■ 六本木センター 〒106-0032 東京都港区六本木4-8-7 六本木三河台ビル 6F TEL: 03-6846-4352 FAX: 03-6846-5216 ■ 立川センター 〒190-0012 東京都立川市曙町2-10-1 ふどうやビル 10F TEL: 042-847-3300 FAX: 042-847-3301 ■ 大阪センター 〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル 20F TEL: 06-6346-6080 FAX: 06-6346-6180 ■ 宮崎センター (2011年6月開設) 〒880-0805 宮崎県宮崎市橘通東4-1-2 宮崎野村證券ビル 7F TEL: 0985-42-7900 FAX: 0985-42-7901
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ プログ・SNS・掲示板企画コンサルティング ■ リアルタイム投稿監視業務 ■ ユーザーサポート業務 ■ オンラインゲームカスタマーサポート業務 ■ コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務 ■ コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務 ■ 人材派遣業務

(2011年3月31日現在)

株式の状況		
発行可能株式総数	5,400,000株	
発行済株式の総数	1,679,200株	
株主数	2,468名	
大株主（上位10名）		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
高谷康久	151,500	9.02
夏目三法	130,000	7.74
夏目理江	73,000	4.34
グリー株式会社	70,000	4.16
ドイチェンク アーゲー ロンドン ビービー ノントリティー クライアツツ613 (常任代理人 ドイツ証券株式会社)	60,700	3.61
東森日出夫	53,000	3.15
松井証券株式会社	39,600	2.35
株式会社シーイー・モバイル	34,500	2.05
日本証券金融株式会社	30,100	1.79
永徳克己	30,000	1.78

所有者別株式数の分布状況



ホームページのご紹介

ホームページでもさまざまな情報をご覧ください。

▶ トップページ



<http://www.e-guardian.co.jp/>

▶ 株主・投資家情報



<http://www.e-guardian.co.jp/ir/index.html>

株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 毎年12月に開催

公告方法 電子公告とする。
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載して行う。

電子公告掲載URL
<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6050/6050.html>

株主名簿管理人 〒105-0014 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
TEL：0120-78-2031（フリーダイヤル）



イー・ガーディアン株式会社

<http://www.e-guardian.co.jp/>

〒106-0045
東京都港区麻布十番1-2-3 プラスアストルビル 4F
TEL：03-5575-2561 FAX：03-5575-0621

